

<p><b>【技術の名称】</b>                  ダイヤレンPC工法                  -ダイヤレンNSを用いたPC有孔梁の補強工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第20-07号                  性能証明発効日：2020年9月10日</p> <p><b>【取得者】</b>                  PC有孔梁研究会                  (代表会社)株式会社ピーエス三菱</p>
---	---

**【技術の概要】**

本技術は、プレストレストコンクリート造梁（以下、PC梁と記す）に開孔を設ける場合の開孔補強工法に関する技術である。本技術では、開孔の補強有効範囲にあばら筋ならびにコーリョー建販株式会社が製造する既製の高強度開孔補強筋「ダイヤレンNS」(BCJ 評定-RC0124-07)を配筋することで、開孔を有するPC梁の安全性を確保している。

**【技術開発の趣旨】**

建築物の梁には、電気、給排水および空調などの設備用配管を通すための開孔を設けることがよくある。このような開孔を設けるPC梁は、従来、日本建築学会「プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説（1998）」（以下、PC規準と記す）に従って補強設計が行われるが、構造計算を行う段階では開孔の径や位置、個数などが確定できず、詳細な検討を行えない場合が多々ある。そのため、工事着工後に確定した開孔の径や位置に基づいて詳細な構造検討を行い、開孔周りの配筋を決定して施工を行うことが多い。本技術は、鉄筋コンクリート造梁（以下、RC梁と記す）や鉄骨鉄筋コンクリート造梁（以下、SRC梁と記す）の開孔周りに使用される既製の高強度開孔補強筋「ダイヤレンNS」をPC梁に適用することで、設計における構造検討の合理化や施工における配筋工事の省力化を意図して開発したものである。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「ダイヤレンPC工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された開孔を有するPC梁は、長期荷重時には使用上の支障が生じず、終局時には開孔がない梁として算定した強度と同等以上の終局せん断強度を有する。

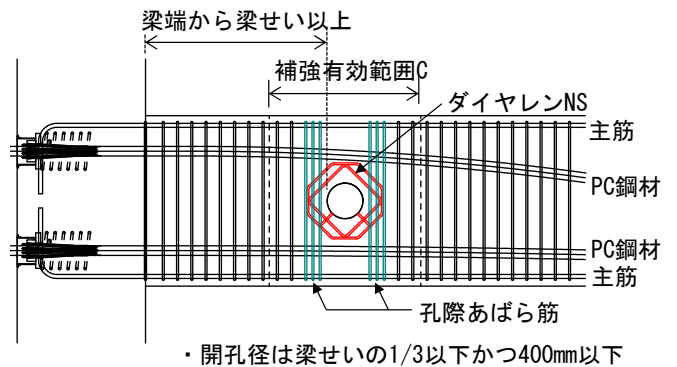


図-1 工法の概要

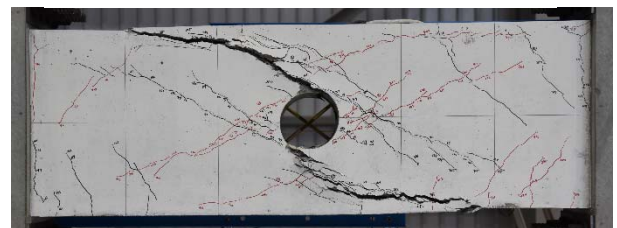


写真-1 試験体の破壊状況

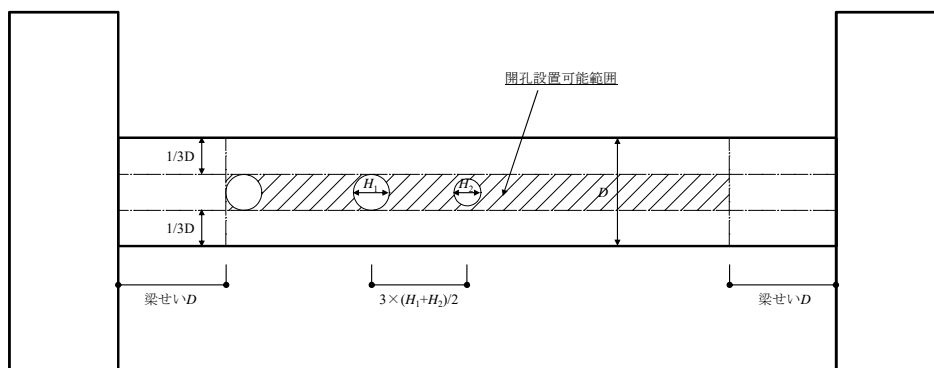


図-2 開孔設置可能位置

**【本技術の問合せ先】**

PC有孔梁研究会（株式会社ピーエス三菱、株式会社建研、オリエンタル白石株式会社、コーリョー建販株式会社）

（代表会社）株式会社ピーエス三菱 担当者：大迫 一徳

E-mail : koosako@psmic.co.jp

〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 晴海センタービル(2F) TEL:03-6385-9611 FAX:03-3536-6967